

福祉学習を行いました（3・4年生）



10月25日（水）に、兵庫県視覚障害者福祉協会の山本さんをお招きして、3・4年生が、福祉学習を行いました。

山本さんは平荘町出身ということもあり、子どもたちに、山本さんの平荘町での思い出や視覚障がい者としての生活について、お話をお伺いしました。

今年度で、平荘小学校が閉校になるのはさみしいことです。今年の平荘小学校のふれあい音楽会に来させていただきました。

とってもよかったです。みなさんは、音楽会のためにきちんと準備をされて、とてもきれいなハーモニーでした。美しく演奏してくれたのがとてもうれしいです。素晴らしいコンサートでした。聴きに来てよかったです。

平荘小学校の狂言も楽しみに来ようと思っています。



山本さんの小さい頃の平荘の思い出として、「村に帰ってきたら、みんなが声をかけてくれました。一人で歩けないところは、ベビーカーに乗せて運んでくれた人もいました。山でも川でも、どこにでも連れて行ってくれました。これは、平荘でないとできません。今でも人を恐れない生活をしています。」と話してくださいました。

山本さんは、現在73歳です。7歳まで、平荘に住んでおられました。その後、兵庫県立盲学校で視覚障がい者の専門の学習をするために、垂水で寄宿舎生活をされました。

「休みの日に、平荘に帰って来ると、村のみんなが、ずっと声をかけてくれて、楽しく過ごせました。」「寄宿舎生活をしている時に、平荘の当時の民生委員さんが平荘のふどうをもつて訪ねて来てくださいました。懐かしい思いをしました。」と山本さんが話してくださいました。

視覚障がい者の方が使っておられる道具を紹介していただきました。

- 腕時計
- 30cmものさし
- 卵を混ぜる道具
- トランプ
（視覚障がい者用）

30cmものさしは、1cmごとに印がついています。



「今の時刻は、11時4分前やな。」と、時計を指で触りながら話されました。

「今から、お茶をこのコップに半分だけ入れます。」と山本さんがおっしゃると、子どもたちが、「えーっ！」と反応しました。



スマートフォンのボイスオーバーを活用することもあります。音声で、電話やメールもすることができます。

視覚障がい者が歩く時はどうするのかを、実際に歩きながら説明をしてくださいました。



ヘルパーさんにお手伝いしてもらう時があります。
一人で歩く時は、白杖を使います。



山本さんの周りに子どもたちが集まりました。山本さんに、音楽を弾いていただきました。
・友だち賛歌・さんぽ・君をのせて
・校歌・平荘行進曲



【子どもたちから山本さんに質問をしました】

- 景色が見えないけれど、楽しいですか？
- ・景色が見えなくても、周りから吹いて来る風や雑踏のにぎやかさ等を感じながら、楽しんでいます。
(例) 静岡に行くとき、静岡独特の風が吹いています。焼津の港では、魚がおいしいです。景色が見えなくても楽しむことはできます。楽しみ方が、みなさんとは別かもしれないけれどね。(いい質問ですね)
- 阪神淡路大震災の時は、どうしていましたか？
- ・1995年1月17日、加古川の家で地震にあいました。平荘の家では、壁にひびがきました。ピアノが60cmぐらい動きました。平荘町で地震が起きてしまったのがショックでした。震災後、神戸にマッサージのボランティアをしに行きました。
- 一番うれしかったことは何ですか？
- ・道で迷っている時に、人に声をかけてもらって助けてもらえた時は、うれしいです。